



# 花緑輝

令和2年度  
学校報5月号③  
大仙市立  
太田中学校

## 第61期生は「翠陽」

1年生の学年ネームが「<sup>すいよう</sup>翠陽」と決定しました。代表の二人が朝に職員室に紹介しに来てくれました。翠は混じりけのないもの、陽は能動的・積極的の意味で、「ピュアな心で目標に向かって積極的に進む」という思いが込められています。学年ネームと皆さんは下のようにこれから長〜い付き合いになります。



入学→卒業→成人式→33歳厄払→42歳厄払→還暦

## ようこそ粟津明子先生

毎週火曜日に粟津明子教育専門監（本務校は大曲中）が来校して国語の指導をしてくださいます。全国レベルの研究会で授業経験豊富な先生から多くのことを教えていただきたいと思ひます。

「朝、駐車場から玄関に向かって歩いていると遠〜くから『おはようございます！』と挨拶をしてくれた子がいました。うれしかったです。初めて授業を見せていただきましたが、どのクラスも礼儀正しく落ち着いた雰囲気でした。授業中も落ち着いた態度で先生方の話を聞いて課題に取り組んでいました。どうぞよろしくお願いいたします。」



（粟津明子先生）

ちなみに、先生は剣道の名指導者です。こちらこそ、ピシッとお願ひします。

部活動も再開  
（新入生も参加）



## 〈学校教育目標〉

互いを認め合い、**広い視野で考え**、地域から行動する生徒の育成



市の「大仙っ子 新聞読もう DAY」という事業で、各校に月に1回新聞が配られます。本校では、その新聞を活用し、朝の読書の時間に新聞に触れる機会をつくることにしました。



本校の生徒たち、新聞に関してはテレビ番組欄すらあまり見ないそうです。（3年生には中学自習室を見ている生徒もいますが…）では、情報はどこから？ ネット？ それとも、世の中のことに興味がない？

◆「新聞は『世の中を知る』基本かつ最良のツール。ネットが普及しても、**新聞情報の重要性は変わらない。**」

◆「ネットでは自分の考えに近いものが『大きく』見える。」

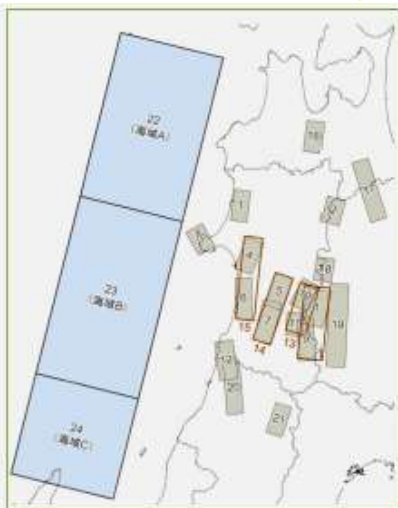
テレビでおなじみの池上彰さんが「僕らが毎日やっている最強の読み方」（東洋経済新報社 佐藤優氏との共著）でこのように述べています。太中生に新聞を読む習慣が付きますように。



## 避難訓練(地震)

東日本大震災の際も、4月に大きな余震がありました。地震はいつ来るかわかりません。本来ならば、新しい教室、新しい校舎に入った子供たちのために早々に避難訓練を行うべきところでしたが、休校のために5月になってしまいました。

真昼山地の麓から横手盆地にかけてはいくつも断層があり、連動して地震が起きると大きな被害になると言われています。日頃から備えが大切です。（避難訓練→）



出典：秋田県地震被害想定調査報告書

